

講師プロフィール

高田 明 様

株式会社ジャパネットたかた創業者
1948年11月 3日生（66歳）
長崎県平戸市出身
大阪経済大学経済学部卒業



「生き残る変化を創り出す、変化を創造するということが重要。どんな素晴らしいサービスを作っても、伝えなければその商品は無いことと一緒。それは伝えるか、伝えないかの差です。」都市と地方の格差が叫ばれている中、長崎県佐世保市に本社がある“ジャパネットたかた”は従業員300人超で年商1,000億円を稼ぎ出す優良企業です。

【“ジャパネットたかた”の強さの秘訣】

- ①自社スタジオを完備し、自社スタッフで番組制作をする「自前主義体制」。
- ②テレビ、ラジオ、インターネットなどを駆使した「メディアミックス」の販売戦略。
- ③年間約50億円のコスト増になっている「金利・手数料ジャパネット負担」という独創的なビジネスモデル。

主な活動

1990年、NBC長崎放送で第1回のラジオショッピングをスタート。社長自らがナビゲーターを務め臨んだ結果、僅か数分間で100万円以上の売り上げを記録。家電商品の通信販売の需要を確信した高田は、その後テレビショッピング、カタログショッピングなどの通販事業を展開。分割金利手数料の負担や、パソコンの設置サービス、インターネット訪問パックなどの画期的なサービスを提供し、その知名度を全国区へと広げていく。

特に、テレビショッピングで思わず出してしまう長崎弁と、明るいキャラクター、そして、妙に力のこもった商品紹介（例：「しいーでいーあああるだぶりゅうー」「でえいーぶいでえいー」）が人気を呼び、じょじょに全国区の人気者へ。普段テレビショッピングを見ない若者からも注目される人物となり、社長自らが会社の看板となって奮闘している。

テレビショッピングでのコミカルなキャラクターが優先されがちだが、その卓越した営業力と商品知識、商品の特性をいち早く理解する洞察力は業界内でも高く評価されており、経済誌やテレビ番組の特集にも多々登場している。ラジオショッピング、テレビショッピング、インターネット販売など、通販業界におけるメディアミックスをいち早く取り入れた人物でもあり、まさに「今日の通販業界のパイオニア」と言っても過言ではないだろう。また、長崎県佐世保市に本社を構え、長崎を発信地にして全国へ事業展開していることから、地方経済活性化の手本として、その手腕に注目が集まっている。

現在はテレビショッピングのほとんどを副部長の塚本慎太郎に任せ、自身は新たな商品分野の開拓を目指して自ら営業活動を続けている。